

PKUSC

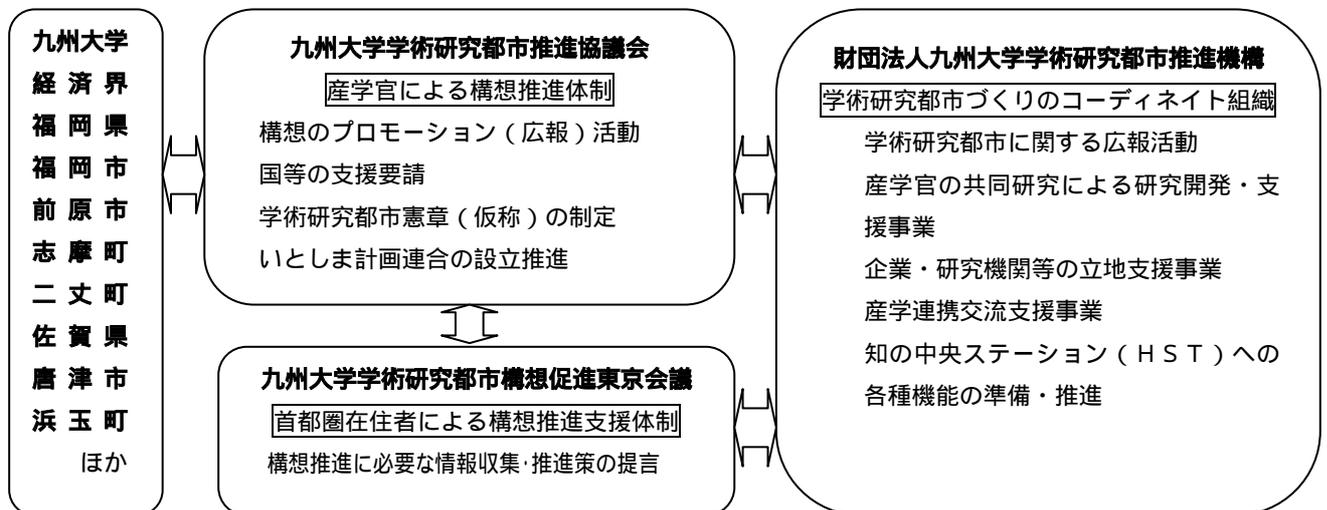
2004年10月1日に「財団法人九州大学学術研究都市推進機構」の設立総会がホテル日航福岡で開催され、新しい財団が発足しました。

この新しい財団の活動方針や活動状況を皆さまにお伝えするために、この度「九州大学学術研究都市推進機構ニュース“PKUSC”」を発行していくことといたしました。

新財団では九州大学学術研究都市づくりの推進に向けて財団職員一丸となって取り組んで参りますのでご指導ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

新財団の設立目的と九州大学学術研究都市の推進体制

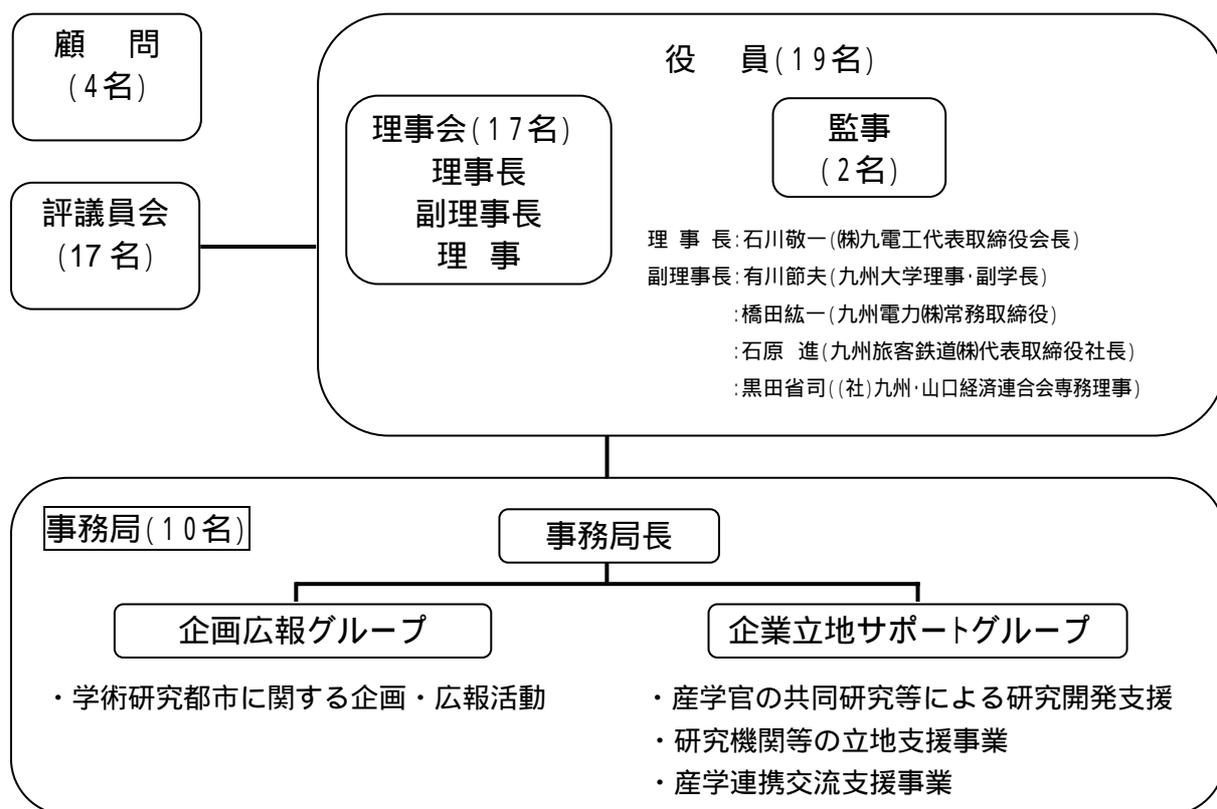
九州大学学術研究都市推進機構は「産学官の共同により、学術研究都市に関する広報活動、先端技術に係る研究開発及びその支援並びに企業・研究機関等の九州大学新キャンパス周辺地域への進出支援を行うことにより、当該地域に知的拠点を形成する。(財団寄付行為より抜粋)」ことを目的として産学官の共同で設立されました。



九州大学学術研究都市の推進体制

九州大学の福岡市西区元岡・桑原地区への移転を契機に、世界に通用する新しい学術研究都市を構築するため、平成10年5月に「九州大学学術研究都市推進協議会」が産・学・官が一体となって設立されました。協議会では平成13年6月に「九州大学学術研究都市構想」を取りまとめ、さらに平成15年1月には首都圏在住者による構想推進の支援組織である「九州大学学術研究都市構想促進東京会議」が発足し、この度、構想の推進母体となる「財団法人九州大学学術研究都市推進機構」が設立されたことで、構想の実現に向けた推進体制が強化されました。

機構の組織と業務の概要



事務局スタッフの紹介

事務局長代理	吉田須美生	福岡県より派遣。県で都市計画に10年余り携わる。タイにJICAより派遣されること2回。(趣味はお酒を少々)
事務局次長兼企画広報グループ長	真隅 潔	福岡市より派遣。都市整備に20年余り従事し、JR九州への出向経験あり。趣味はオーケストラ活動。
企業立地サポートグループ長	山浦輝久	九電より派遣。日立で原子力発電、九電で火力発電、エネルギー営業を経験。ワークキャリアを活かしたい。
企画広報マネージャー	田中和彦	九電より派遣。初めての出向で新しい環境での仕事に若干とまどい気味。
企業立地リサーチャー	石田浩二	九大より派遣。自宅は熱海、現在は薬院在住。趣味は釣りで、前職は商品開発および情報化のコンサルを13年自営。猫の里親探しに悪戦苦闘!
企業立地サブリサーチャー	渡邊浩平	九大より派遣。学研都市完成の土台づくりの一助を担っていきたいです。各種「もの」集めが趣味であり、現在部屋が飽和中。
企業立地マネージャー	上野孝徳	福岡県より派遣。外務省(在外公館含む)、ふくおかISTに続き3回目の出向、趣味は海外旅行、雅楽。
企業立地サブマネージャー	大塚洋一	福岡市より派遣。九州大学学術研究都市に携わって7年。趣味は九州大学。
企業立地サブマネージャー	佐藤暢明	前原市より派遣。一員として色々な出会いがあり良い経験になっております。趣味は特に園芸、春蘭・富貴蘭等 計200鉢所有。
経理・総務担当スタッフ	中村美鈴	スタッフの仕事がスムーズにいくようサポートしていきたいです。趣味は旅行と料理です。

最近の活動報告

〈学術研究に関する企画・広報活動報告〉

平成17年3月3日(木)に東京のNHK千代田放送会館で学研都市シンポジウムを開催予定で、開催に向けてテーマや関係者との調整作業を進めています。

ホームページの立ち上げをとりあえず完了しました。中身はまだですが、今後、九大移転情報や学研都市情報のタイムリーな提供、九大の研究シーズデータベースや企業立地情報など、徐々に内容を充実していきたいと考えています。

ホームページアドレス：<http://www.pkusc.com> 一度覗いてみてください。

第一期開校に向け、九大、地元自治体等と連携したPR事業の展開を検討しています。

これから学研都市構想の推進計画、学研都市の運営戦略の策定作業を進めて、学研都市の「将来像」(完成予想図や数年毎のステップ図)を描いていきます。

住みやすく快適な都市空間づくりを目指して、住宅ワーキングやJR九州新駅ワーキングなどを関係者と開催しています。

〈産学官の共同研究による研究開発支援事業〉

共同研究・研究開発支援事業等の実施の可能性に関する調査を検討しています。

- ・金属加工技術(STSP)について、九大・自治体・機構で支援を検討中です。
- ・ICカード関連では、「学園都市モデル事業」として、自治体にも協力いただきながら調査を行っています。

〈研究機関等の立地支援事業〉

平成16年11月29日(月)東京の赤坂プリンスホテルにおいて「福岡県企業セミナーIN東京」を福岡県との共催で開催しました。詳しくは裏面に掲載しています。

タウンオンキャンパス地区の産学連携施設等の将来計画について関係者によるワーキング会議を開催しています。

分散型地域核「ほたる」の開発調査、企業誘致活動に必要な都市形成調査に着手しました。今後、企業誘致の可能性のある企業へのプレゼン資料として、前述の学研都市の「将来像」に反映させていきます。

〈産学連携交流支援事業〉

九州大学知的財産本部の定例ミーティングへ参加し、情報交換等を行っています。

九州大学知的財産本部(リエゾン部門)との共同でシーズ・ニーズ調査を検討しています。

「(仮称)超高圧電子顕微鏡利用研究会」(九大:古川先生、木下先生)において、会員制運用の検討を始めています。

「(仮称)都市エネルギーシステム研究会」において、九大・県・福岡市・企業での対応を検討しています。

〈先進事例視察調査〉

飯塚市の「e-ZUKAトライバレーセンター」、北九州学術研究都市、千葉県の東葛テクノプラザを視察しました。

東京セミナーの報告

【実施要領】

平成 16 年 11 月 29 日(月)東京の赤坂プリンスホテルにおいて九州大学学術研究都市への企業誘致を促進するため福岡県と共同で開催。福岡県の主な産業の 1 つである半導体・自動車関連産業の現状やそれに関連した九州大学で行われている研究などの紹介及び九大学研都市の今後の展望などを紹介しました。

【講演】

- ・「半導体 2005 のキーワードは次世代テレビと自動車だ」

泉谷 渉氏 半導体新聞編集長

概要：半導体関連産業の現状と展望及びカーエレクトロニクスの今後の将来動向などの紹介

- ・「シリコンシーベルト福岡プロジェクトの今後の取り組み」

安浦 寛人氏 九州システム LSI 研究センター センター長

概要：シリコンシーベルト福岡プロジェクトの強み、今後の戦略などの紹介

【参加者数】

- ・半導体関連企業、自動車関連企業など 97社 133名



泉谷編集長



安浦教授



セミナー会場の様子

これからの行事予定

九州大学の情報発信拠点「ビッグオレンジ」が平成 17 年 1 月に新キャンパス内にオープンします。平成 17 年 1 月 20 日(木)14:30~17:00 にホテルオークラ福岡に於いて、「九州大学学術研究都市企業セミナー」を開催します。内容は東京セミナーと同じです。

平成 17 年 3 月 22 日(火)に東京の赤坂プリンスホテルで「平成 16 年度東京会議総会・交流会」を開催します。

平成 17 年 3 月 3 日(木)に東京の千代田放送会館での「九州大学学術研究都市シンポジウム」開催について、準備・調整中です。

発行日：平成 16 年 12 月 20 日

発行者：(財)九州大学学術研究都市推進機構

〒810-0001 福岡市中央区天神 4-3-30 天神ビル新館 6F

お問い合わせ：企画広報グループ

TEL：092-735-4848 E-mail：info@pkusc.com

FAX：092-716-1325 URL：<http://www.pkusc.com>

(PKUSC：Planning Organization for the Kyushu University Science Cityの頭文字です。)